



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
平成30年度学校だよりNo.12
平成30年9月3日
文責 校長 吉尾直樹

27名全員でのリズムダンスを舞台発表しました
8月24日 全国中学校総合文化祭

全国中学校総合文化祭が8月24日、25日の2日間、アルカスささぽで開催されました。本校は27名の全校生徒で、リズムダンスを舞台発表しました。

大きな舞台と会場いっぱいの観客に少し緊張した面持ちでしたが、曲が始まると笑顔いっぱい、元気に表現しました。この夏休みに暑い体育館で練習し、特に1年生に優しく丁寧に教える上級生の姿は素晴らしいものでした。会場内の多くの方からも絶賛され、多くの拍手をいただきました。



またこの文化祭では、他県や県内から、演劇やビデオ、書写や絵画など、心のこもった作品を見ることができ、たくさんの刺激を得ることができました。保護者の皆様には、夏休みには、弁当の準備等、多くのご協力をいただきました。ありがとうございます。

本質を知り、本気で取り組む2学期にしましょう
9月3日 第2学期始業式

2学期の始業式にあたり、次の話をしました。
「2学期の一字は『本』。2学期には、すぐに、3年生の修学旅行、2年生の職場体験学習、1年生のボランティア体験学習があり、

その後も、市中総体駅伝、学習発表会など多くの学習や体験の場があります。
そうした中で大切になるのは、まず『本質』を知ることです。なぜ、修学旅行に行くのか、なぜ、職場体験学習をするのかというように、その『本当』の意味を知らず、『本気』にならなければ、何となく参加して、何となく終わってしまいます。

この夏休みを振り返ってみましょう。平日は、朝からランニング、部活動や学習会、昼からのダンス練習と忙しい日々でした。その中で、自ら求め、高めようと努力した人と何となく参加した人がいませんでしたか？そこに、『本気』の違いがあるのです。例えば、学習会は、復習や自分の弱点を計画的に克服し、分からないところを積極的に質問する場でした。そうした使い方ができましたか？朝のランニングは、自分の記録に挑戦しましたか？もう一度、この夏休みの自分を振り返り、もし何となくだった人は、『本気』の2学期にしましょう。そうすれば、自らを大きく成長することが必ずできます。

全国中学校総合文化祭のリズムダンスの発表後には、多くの方から、とても素晴らしかったと話をいただきました。中には、沖縄県の中文連の会長の方からも絶賛していただきました。では、なぜこんなにもほめてもらったのでしょうか。

昨年、バブリーダンスで有名になった登美丘高校は印象にありますか？私も今年度のダンス甲子園の放送をテレビで見ました。どの学校もすごい動きと構成でした。ただ、部活動としてダンスが好きな人が集まり、その中からの選抜メンバーで構成されたステージと本校の発表を比べると、その価値は違います。

みなさんは全員がダンスが得意なわけではない、みんながリズム感があるわけではない、でも、その全員で互いのピースを組み合わせて、発表の舞台をつくるから価値があるのです。だから、多くの方が『全校でのリズムダンス』を絶賛してくれたのです。つまり、上級生が手取り足取り教え、この夏休みに苦勞してみんなで創り上げてきたその努力を、褒めたたえているのです。

この9月から、新しい仲間として1年生に墨谷翼陽(すみや つばさ)くんを迎えました。墨谷くんが加わった28名で、さまざまな活動に『本気』で取り組み、たくさんの成果を実らせていきましょう。」

夏休みには県中総体、全国中総文祭、夏季選手権大会など、全国や県のレベルに触れる機会が多くありました。その経験はこれからの生徒たちの大きな糧になったはずです。2学期も保護者の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



3日 始業式 4~5日 3年実力テスト 1・2年課題テスト 7日 委員任命式
12~14日 3年修学旅行 2年職場体験学習 1年ボランティア体験学習
18日 高校説明会

「失敗は罪ではない。志が低いことが罪なのだ。」 ラッセル・ローウェル(詩人/アメリカ)
志とは、心の中に本当を持つこと。西郷隆盛は「幾たびかの辛酸をへて、志初めて堅し」と言った。島流しされるなど何度も失敗しても、幕府を倒し、明治維新を成し遂げるために努力を続けた原点が、志を高く持ったことである。目標を高く持ち、何度失敗しても乗り越えていく、そんな姿にあこがれます。